

## 多摩美術大学校友会会報 「alT」アルティ

The alumni association of Tama Art University

## No. 14 目次 Contents

- 02 第14回定期総会 at 八王子キャンパス ご報告
- 03 校友会の事業紹介
- 04 校友会奨学金制度
- 05 出前アート大学
- 06 TAMABI people's now vol.005 加山さんご家族
- 08 全国の校友会支部・有志活動のご報告／事務局からのお知らせ

alT	1	
	2	4
	3	

- 1 本年度奨学生ベンフィ杏里沙さんの作品  
(シルクスクリーンによるテキスタイルプリント)
- 2 第14回定期総会関連行事、カフェ・アルティ会場風景
- 3 校友会オリジナル月光荘スキッチブック
- 4 御所市立秋津小学校での出前アート大学授業風景



校友会には、2種類の奨学金制度があります。ひとつは私費留学生を対象とし、研究室から推薦される「私費留学生奨学金制度」です。チャリティ展覧会「多摩美術大学校友会小品展」の売上金の一部が奨学金にあてられます。もう一方は在学生が対象で、毎年6月に募集する「校友会奨学金制度」です。成績、家庭の経済的事情を審査基準とせず、提出書類のみで審査されます。意欲ある在学生を応援しています。

### 平成20年度校友会私費留学生奨学生

#### ○大学院美術研究科

趙 丹娜(チョウ タンナ) 博士前期課程(修士課程)絵画専攻(日本画)2年

孫 鍾準(ソン・ジョンジュン) 博士後期課程美術専攻(彫刻)1年

孔 秀京(コン・スヨン) 博士後期課程美術専攻(情報デザイン)1年

#### ○美術学部

金 美花(キム・ミファ) 環境デザイン学科3年

金 俊成(キム・ジュンソン) 芸術学科4年



### 平成20年度校友会奨学生

#### ○美術学部

石原絵梨 絵画学科油画専攻2年

岩本有未 彫刻学科4年

木戸龍介 彫刻学科4年

田中陽向子 生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻3年

坂部真理 環境デザイン学科3年

坪 健太 情報デザイン学科情報芸術コース4年

杉山哲司 芸術学科4年

#### ○造形表現学部

宮川英子 造形学科3年

大崎祥子 デザイン学科4年

中野佐保 デザイン学科4年

山本 渉 映像演劇学科3年

深町 理 映像演劇学科4年

#### ○大学院美術研究科

吉川奈菜子 博士前期課程(修士課程)絵画専攻(版画)1年

大石晃裕 博士前期課程(修士課程)デザイン専攻(グラフィックデザイン)2年

ベンフィ杏里沙 博士前期課程(修士課程)デザイン専攻(テキスタイルデザイン)1年



平成8年度から始まった校友会奨学金制度は、これまでに160名の学生に奨学金を授与いたしました。授与にいたるまでの応募のきっかけや、どのように奨学金を活用されたのか、どのような活動をされているのか、ご報告いただきました。今回は、平成20年度校友会奨学生のベンフィ杏里沙さんにお話をうかがいました。



ベンフィ杏里沙

平成20年度奨学生 大学院美術研究科博士前期課程(修士課程)  
デザイン専攻(テキスタイルデザイン)1年

Q1. 奨学生に応募した動機・きっかけはですか？

大学院が始まり、シルクスクリーンでテキスタイルのプリントの制作を進めるうちに、材料や研究のための旅の費用などが思ったよりもかかることに気づき、多摩美術大学校友会の奨学金に応募しました。

Q2. 応募時の研究テーマはですか？

「いつの時代でも永久に愛用されるプリントテキスタイルデザインの制作」という私にとっての永遠のテーマの中で、今はサーフェスデザインにおいての幾何学的形態の可能性を追求しています。

Q3. 奨学金はどのように、何に使う計画ですか？

これからの制作のシルクスクリーンプリントの染料や布の費用と、工場見学や海外へのリサーチの旅の費用に使わせていただきたいと思っています。

Q4. 今後(将来)の夢や目標などについて教えて下さい。

将来は、まだまだいろんなデザインに挑戦していきたいと思っていますし、何事にでもトータルにデザインできるデザインスタジオを開きたいです。また、デザインだけでなく、アーティストとコラボレーションが出来るようなギャラリー兼工房みたいなスペースも持てたらなと思っています。



作品(上から):Sunny Side / Four Color Problem / Moony Waves 2009

## 出前アート大学

出前アート大学は全国に拡大中。授業No.017からNo.023までの報告と進行中の授業をお知らせします。

No. 017 体にも気持ちがあるのだ！ 講師:松本大樹 ('94二部芸術・コンテンポラリーダンサー・振付家)

埼玉県  
寄居町

07年10月19日(金) 寄居町立鉢形小学校(1年生28名)

人やモノに触れるとき、そこからどんな気持ちが伝わってくるでしょう。目を閉じてそっと触ったり、マットにバーンッと体ごとぶつかってみたり、お友達の手のひらを優しく包み込んでみたり…。自分の体を通して、いろんな感覚を感じることができました。



ガラスがぷうーっ 講師:伊藤 子 ('64日本画・ガラス作家)

奈良県御所市 No. 018 No. 019

07年11月19日(月) 御所市立秋津小学校(6年生23名)

07年11月20日(火) 御所市立葛城小学校(6年生21名)

ガラス工芸発祥の地で、吹きガラスの授業を行ないました。オレンジ色に熱くなったガラスの玉を、吹き竿に繋がれたチューブでおもいっきり息を吹き込みます。息の力でどこまで大きく膨らませられるのかな？顔を真っ赤にさせながら、光に輝くガラスの玉が完成しました。



かるたdeポスター 講師:関口 尚 ('84グラフィックデザイン・イラストレーター)

No. 020

東京都  
西東京市

08年2月22日(金)・3月7日(金) 西東京市立けやき小学校(5年生32名)

かるた形式のポスターを制作します。伝えたいメッセージを、文字札と絵に表現します。メッセージを、そのまま言葉や絵にするのではなく、授業のテーマである“ユーモア”を加えることで、ひとりひとりの個性が表れた、面白いポスターが完成しました。

No. 021 焚き火でアート・イート・ウィット(art・eat・wit) 講師:祐乗坊 進 (環境カウンセラー)

08年3月29日(土)・3月30日(日) くれアドベンチャースクール(年長～中学3年生43名)

自然のことならなんでも知っている祐乗坊先生と、吳の里山に出掛けました。木の実や葉っぱを拾い、自然のかたちをそのまま炭化させる“花炭”を作ります。「焚き火」を通じて、火の作法、食べ物の調理、炭という素材に触ることができます。沢山の自然体験を楽しみました。



こころにスニーカー 講師:稻垣行一郎 ('59図案(平面)・アートディレクター)

No. 022

東京都  
港区

08年7月11日(金) 港区立御田小学校(4年生38名)



自分のシンボルマークを作る？どうやって考えていけば良いのだろう。稻垣先生の提案する「6つの窓」という方法で、いつの間にか沢山のアイデアが生まれました。デザインの仕方もアドバイスをもらって、最後にシンボルマークをTシャツにプリント。みんなの前で発表しました。

No. 023 つくろう!! キミがなりたいもの! 講師:小杉朋子 ('77プロダクトデザイン・イラストレーター)

東京都  
世田谷区

08年8月23日(土) 世田谷区立京西小学校(1～6年生26名)

「なりたいもの」をテーマに自分と同じ背丈の人形を制作します。背丈ほどの人形をつくるには体をいっぱい使い、まるで材料と格闘しているようでした。なりたいもののイメージに合う材料を選んで装飾し、各々のこだわりが随所に発揮されたユニークな作品が完成しました。



●講師・サポートスタッフ募集! 2004年度より始まった「出前アート大学」の活動は、今年で5年目を迎えます。全国各地の子どもや地域の関係者、卒業生の方々と交流をしてきました。子どもたちへ「アートの素晴らしさ」を伝えていきたい! と、毎授業、実行委員会の中で議論を繰り広げています。出前アート大学の特徴は小学校のご要望をもとに、講師と担当者が一体となって、地域の人・時・空間の特色を活かした授業を提案しています。年間に実施する授業数は限られていますが、貴重な機会に集まつたたくさんの方々と感動を共有し、出会いの輪が大きく広がっていくことを願っています。そしてもっと有意義な活動にするには、どうしたら良いのだろう? そんな想いから、この活動にご協力していただける方を募集することになりました。講師、サポートスタッフ、写真やビデオ撮影…役割は様々ですが、それぞれの得意分野を活かして、一緒に盛り上げていきませんか? ご興味のある方は、ぜひ、事務局までご連絡下さい。◎今後の予定:2008年10月には宮城県仙台市立松陵小学校、1月には東京都世田谷区立船橋小学校、2月には愛媛県立西条市こどもの国にて授業を予定しています。出前アート大学ホームページ > [http://www.tamabi.ac.jp/alt/demaeart\\_site/top.htm](http://www.tamabi.ac.jp/alt/demaeart_site/top.htm)



左から:由起さん、英利子さん、哲也さん、貴雅(たかまさ)さん、万葵(まき)さん 写真:坂本政十朗('89GD)

TAMABI  
people's  
now

加山さんご家族

vol.005

## KAYAMA FAMILY

今回は、5人家族のうち4人が多摩美を卒業された加山さんご家族に登場していただきます。お父様の哲也さん、お母様の英利子さんは共に日本画専攻、長男の貴雅さんは工芸学科、次女の万葵さんは芸術学科を卒業されています。ご家族で校友会正会員カードを申し込まれたことがきっかけになってインタビューさせていただくことになりました。実は、哲也さんの父上は日本画教授だった加山又造氏であり、多摩美とはとても縁が深いご一家です。陶芸家の哲也さんの展覧会場(横浜高島屋美術画廊)にお話をうかがいました。

### 多摩美に入ったきっかけをそれぞれお聞かせください

**哲也** うーん、なりゆきでしょうか。僕の焼物の師匠になる人ですが、義理の叔父さんで番浦史郎さんという方が焼物をやっていて、中学に入った年に伊賀で窯を開いたので遊びに行ったのです。いいなと感じて、将来焼物を勉強したいなと思ったんです。高校を卒業するときに、親父から物を作る仕事の基本は絵だから美大はどうだと言われて、たまたま引っ掛かったのが日本画だったというわけです。

**英利子** 私は飛騨の高山生まれで、美術関係には進みたかったのですが、親から実家に近い金沢か名古屋どちらかにしないと言われましたので、東京は物見遊山を受けました。結果的に多摩美に受かり、もう浪人せずに合格したところに行きなさいという一言で決まったのですが、東京は展覧会が選り取り見取りに行け、刺激があるということもあるので入学したんです。

**貴雅** 粘土いじりは、父の手伝いでちょっとやっていたぐらいなんですが、高3の春に大学に行くかどうかよく分からなかったときに、何か造ることが好きならそっちの勉強してみたって母に言われて。じゃあ、予備校に行くかと決め、芸大と多摩美を受けて、芸大は落ちて、多摩美に入りました。ほんって入ったので、自分でびっくりしました。

**万葵** 私もやっぱり母がきっかけです。イラストは好きでしたが、プロになるレベルではないことは分かっていて、映画評論にも興味があったのです。絵を描かなくても受けられる学科があると母に言われ、それは夢のようだと思って受けました。芸術学科はとても面白そうだし、興味があることだから楽しく勉強できるのではないかと思いました。

### 大学生活はいかがでしたか

**哲也** 僕の場合は、わずか4年間でしたが、物を作ることはどういうことなのか、おぼろげながらにつかめたような気がします。いろいろな人たちに会って、決してハウツーではなく、物を見るときのスタンスとかを習いました。いわゆるアカデミズムではないところで純粋培養された感じがします。だから卒業して社会の中に放り出されたときに、物を作りながら生活していくこと、つまりお金に還元しなくてはいけないことに對して、自分の中ですごいめぐ合いがあって、今でもそれが続いている。

### どんな先生方がいらしたのですか

**哲也** 僕は堀文子先生と中野嘉之先生のクラスでしたが、当時は故上野泰郎先生や堀先生、親父の加山又造がいましたが、先生たちはそれぞれ教え方が違っていました。親父は、美術大学は100年に一度、出るかないかの天才児を出せばいいんだという考え方。堀先生はまったく違って、若い一時期に絵を勉強したことその人の生涯で役に立ってくれればいい、それが美術大学というものだと。一方、上野先生は大学で絵を勉強したからには一定レベル以上になって卒業してくれないと困るという。なるほど、それぞれに正しいのだろうなって。そういう話を聞けることが非常に助かりました。

**英利子** 息子が陶に入ったとき最初に中村錦平先生が使えるものは作るな、とおっしゃっていたそうで、いい先生に巡り合ったと思いました。使えるものを父親がつくれているわけです。息子はそれしか見ていないので、どうするのだろうなと思っていたので。

**貴雅** 錦平先生に会えたのはよかったです。

### これからやりたいことについてお聞きしたいのですが

**英利子** この20年間、忙しくても日本画や帯などに手描きした作品の個展を年に2回しています。子育てが大

英利子さんはひとつ上の学年ですが、哲也さんといつお知り合いになったのですか

**英利子** 二年生になって連休明けの頃、イイオ食堂で、あれが加山先生の息子さんよって友だちから教えられて、遠くから見ていたら、A定食、B定食とか決めるのを迷っているんです。それが普通の迷い方じゃなく、うろうろ困っているような感じで。やっと決めて食べ始めて、うれしそうな顔してニッとしたので、ろくなものを見ていないんだと思ったんです。それが第一印象で、かわいそうな感じがして。ところが、加山の母はとても料理のうまい人で、実は美味しいものを毎日食べていたんです。で、私のクラスにはマージャン好きがたくさんいて、そこに哲也も混じっているのをマージャンはしない私は、あ、いるなと見ていました。

**哲也** そうだね。僕らの学年は全然しなかったから、上の学年に僕が入り浸るようになって。あのときは結構いろいろな人がいたからね。

### 日本画はアットホームな感じのところですよね

**哲也** でも、今みたいに教室の中にちゃんとみんな入れませんでした。

**英利子** だって、40畳たらずくらいしかないでしょう。そこに20数人だから。場所がとにかくないわけです。モチーフ、B2のパネルを置いて、お皿とか筆洗とかを置いたら、もうそれでいっぱいです。夏の間に50号見当の絵を描いてきなさいという課題が出来ても、物理的にそこで全員が仕事をするというのは無理で、今みたいな恵まれたアトリエという感じのところと違いますね。

**哲也** 交通の便も悪かったしね。

**英利子** 八王子行きの鎌水のバス停まで歩いてると30分はかかったものね。

**哲也** そう。橋本までは40~50分かけて歩いたよね、峠を越えて。

**英利子** ウズラの親子が通っていくのを帰りの林道で見たり、今のこの立派な環境とは考えられない。

### 自分のときと比べて、お子さんたちが入られた多摩美をどう思われますか

**哲也** 極めて明確ですよね、多摩美の在り方って。反芸大みたいなところがあるでしょう。完全な在野を目指している。僕の見方ですけれど、陶芸を見ても、芸大はエリートの英才教育の感じがする。ところが、息子を見ていると、そういう感じでは絶対に育っていないし、むしろ、僕のほうが京都のアカデミズムで育った師匠の下で学んでいますね。それよりはずっと真っ白な状態で焼物、土をいじっている。それでいいんじゃないかと思います。

**英利子** 息子が陶に入ったとき最初に中村錦平先生が使えるものは作るな、とおっしゃっていたそうで、いい先生に巡り合ったと思いました。使えるものを父親がつくれているわけです。息子はそれしか見ていないので、どうするのだろうなと思っていたので。

**貴雅** 錦平先生に会えたのはよかったです。

変なときに、哲也さんが絵を描いているときはいい顔しているよって。怒っていないということです(笑)。同級生で友達夫婦のような作家の知り合いがいて、その女性の方がコンスタントに展覧会をしていて、彼女を見習って何とか続けています。やる人は続けますよね。せっかく多摩美を卒業したのだから、活かしたいですね。

**哲也** やりたいことというより、とにかくもっともっと自由になりたいと思います。あまり焦らないで、晴耕雨読ってことばがあるけど晴釣雨陶でやっていきたい。

**万葵** どういう意味?

**哲也** 晴れた日には釣りをして、雨が降ったら焼物をつくるということ。

**英利子** 焼物からは離れないということ?

**哲也** うん、たぶん一生離れられないな。それしかなきからね。土物に絵を付けるという作家さんがなかなかないから。日本画を学んだことは本当に賜物で今でも活きていますね。

**貴雅** 僕はいま下北沢でやる個展の準備をしています。妹に事務などを手伝ってもらひながらやっています。

**万葵** 私は、家族の作品が好きで、祖父の作品ももちろんいろいろな場所に発表していきたいので、プロデュースのノウハウを身に付けて、海外にも発信したりと、自分の好きなものを発表できる場を自分の力でつくれるようになりたいです。

本日はどうもありがとうございました

### 【編集室から】

哲也さんの個展会場には、龍が着彩された大壺が展示され、京都、天龍寺の加山又造氏が描いた龍への想いがありました。多摩美では、文化勲章受章者で日本画教授だった故加山又造氏から寄贈された4曲1隻の「倅北宋水墨山水雪景」、ご遺族から寄贈された版画・素描・画材などの約5,000点のコレクションを基本資料に多角的な研究を行う「加山又造共同研究会」が組織されました。哲也さん、英利子さんも研究会のメンバーでいらっしゃいます。長女の由起さんは多摩美術大学美術館で開催していた「加山又造 アトリエの記憶Ⅲ展」(会期:2008年9月28日~11月3日)の企画に尽力されていて準備の真っ最中でお忙しいとのことでした。加山ご一家は、お互いを名前で呼び合い、自由で率直な意見が交わせる、とても仲の良いご家族でした。

### 加山家のひとと

加山哲也 '78年絵画科日本画専攻卒業・陶芸家

加山英利子 '77年絵画科日本画専攻卒業 奥野健男文学セミ・日本画家

加山由起 '01年成蹊大学法学院政治学科卒業 '06年金沢工業大学大学院知的創造システム中退

加山貴雅 '03年工芸学科(陶コース)卒業 東京田中短期大学講師

加山万葵 '05年芸術学科卒業 '07年大学院芸術学専攻修了

# 全国の校友会支部・有志活動のご報告

## ●支部事業企画－SHIBUCOM(シブコン)

会員の交流、親睦、会の発展のための有意義な支部活動を尊重し、支援しています。事業企画書と予算書とともに、コンペティション形式で支援する支部を決定しています。会長・副会長・担当理事・事務局長からなる審査会にて、平成20年度は、千葉支部の企画に決定いたしました。支援金が若手作家育成を目的にした「奨励賞」に活用されました。

## 20年度採用企画:千葉支部「千葉多摩美会」・報告

第11回千葉多摩美会展

会期:2008年6月10日(火)～15日(日)

会場:千葉県立美術館第4室

出品者:44名 作品:65点 来場者:1,650名



## ●群馬支部「ぐんたま」・報告

トリエンナーレぐんたま

会期:2007年10月26日(金)～31日(水)

会場:高崎シティギャラリー

出品者:31名 作品:52点 来場者:666名



## 第7回ぐんたまオープンキャンパスバスツアー2008

会期:2008年7月19日(土)

会場:JR高崎駅～本学八王子キャンパス

参加者:群馬県内の高校生16名

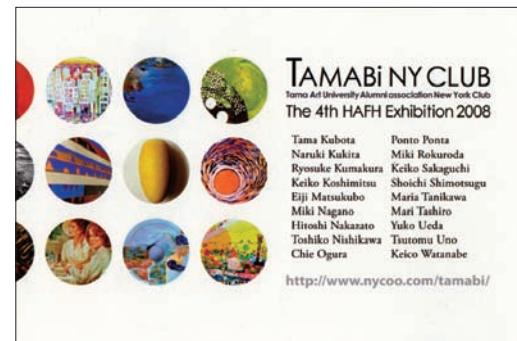
## ●ニューヨーク支部「TAMABi NY CLUB」・報告

The 4th HAFH Exhibition 2008

会期:2008年1月16日(水)～3月12日(水)

会場:miwa - alex salon

出品者:29名



## ●愛知支部「多摩美愛知の会」・報告

第3回多摩美愛知の会展

会期:2008年7月26日(土)～8月3日(日)

会場:ギャラリータマミジアム

出品者:29名 作品:31点 来場者:400名



## ●多摩教育の会・報告

平成20年度総会・研修会

会期:2008年8月25日(月)～26日(火)

会場:本学八王子キャンパス



## ■支部長交代

北海道支部:栗谷川 悠('60国平)→杉山宗英('69インテリア)

ニューヨーク支部:中里 斎('60油画)→下次正一('72彫刻)

## 芸友会の寄付について

多摩芸術学園卒業の皆様へ

多摩芸術学園が1992年に36期の卒業生を送って閉鎖されてから17年になります。この多摩芸術学園にも芸友会と言う同窓会が存在したことご記憶の事と思います。1992年に最後の総会が開催され、余剰金の処理と芸友会の存続について話合われましたが、結論が出ず今日に至りました。

本来であれば総会を開催すべきですが今となっては不可能でしょう。会計の手元にあった現金を多摩美術大学校友会奨学金基金積立へ寄贈することとし、2008年5月に実行いたしました。

この件に関する問い合わせは多摩美術大学校友会までお願いします。

2008年9月

多摩芸術学園芸友会元会長  
山崎美喜男(5期写真学科卒業)

○多摩芸術学園とは…学校法人多摩美術大学が1954年に設立した3年制の専門学校で、映画・演劇・芸能美術・写真デザイン・絵画学科の3,307名の卒業生がいます。

## 事務局からのお知らせ

### 訃報

校友会活動に多大なるご尽力をいただきました。ここに深謝いたします。  
心よりご冥福をお祈りいたします。  
青木龍山 元佐賀支部長('51日画)  
山下勇三 幹事('60国平)

### 役員改選のご報告

退任される方々には任期中お忙しい中、  
ご協力をいただきました。  
深く御礼申し上げます。

### 新任幹事

山本博子('74GD)  
浜端麻玲('01院芸)

### 退任幹事

京野弘一('95建築)  
藤森京子('03工芸)

### ご逝去された会員の方々 心よりご冥福をお祈りいたします。

峰田長門('57油画) 川上ムツ('58日画) 野沢清四郎('58映画) 柴崎 始('59油画) 戸田義人('61写真) 深野浩一('61写真)  
青木顯二('61国平) 田中啓介('63油画) 手川喜代子('64日画) 渋谷正一('64写真) 新井欣三('65油画) 円谷よね('66油画)  
多湖久憲('67GD) 杉坂董('70油画) 有田和子('70舞芸) 碁田礼一('71油画) 小林肇('79GD) 大松卓('87油画)  
田代隆仁('95二油) (敬称略・2007年9月～2008年9月連絡分のみ掲載)

### あなたの展覧会・イベント情報の募集

展覧会やイベント情報を校友会のホームページに掲載しませんか?  
パソコンをお使いでない方は、DMをお送りいただければこちらで掲載いたします。また、個人のホームページをお持ちの方は、「卒業生のHPリンク集」に、ご登録をお願いいたします。あなたの制作や活動を広く知っていただく場としてご活用ください。

### 編集後記

今春に卒業し、事務局で働き半年が経ちます。熱心な先輩達が協力くださっている事に驚きました。会報で、その活動をお伝えし、輪が広がるよう協力を呼びかけています。参加しませんか。（泉谷）

### お忘れなく！個人情報の変更は校友会へ

卒業生の名簿管理は校友会で行っています。今回より個人情報保護シールを同封いたしましたので、ご利用ください。また、取り扱いについて不都合がありましたら、事務局へご連絡ください。

### 校友会事務局へのお問い合わせ先

〒158-8558 東京都世田谷区上野毛3-15-34  
Tel 03-5758-7738 Fax 03-5758-7739  
E-mail alt@tamabi.ac.jp  
URL http://www.tamabi.ac.jp/alt